



製品安全データシート SDS

1. 製品及び会社情報

製品名 : Microban X-590 (G1793 マイクロバン X-590)
化学物質の種類 : 水溶性クリーニング配合物
推奨用途 : 水洗いできる化学繊維織物洗浄
会社 : 株式会社フォンシュレーダージャパン
東京都北区志茂 4-28-10
TEL: 03-3901-7307
FAX: 03-3902-7904

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理学的危険性	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
	特定標識臓器・全身毒性(単回暴露)	区分 3 (麻酔作用)
環境に対する有害性		該当しない

※記載のないものは分類買または分類できない

ラベル要素

シンボル



注意喚起

警告

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
強い眼刺激
眠気またはめまいの恐れ

3. 組成／成分に関する情報

成分名	CAS No.	含有率%	化審法	化管法管理番号
イソプロピルアルコール	67-63-0	25-50	2-207	-
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル	9036-19-5	2.5-10%	-	408
塩化ベンゼトニウム	121-54-0	0.1-1%	-	-
ミネラルスピリット	64742-47-8	0.1-1%	0	-
4-(2-エチルヘキサン-1-イル)-4-アザトリシクロ [5.2.1.0(2,6)]デカ-8-エン-3,5-ジオン	113-48-4	0.1-1%	(9)-228	-
2-フェニルフェノール	90-43-7	0.1-1%	-	346
ピペロニルブトキシド	51-03-6	0.1-1%	9-1484	809
ピレトラム	8003-34-7	0.1-1%	0	-

4. 応急処置の方法

皮膚: 大量の水で洗い流してください。炎症が続く場合は医師にかかってください。
目: 目に入った場合は、すぐに大量の水で洗い流し、医師にかかってください。
吸引: 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸できないときは、人工呼吸を行い、医師の手当てを受けてください。

摂取: 飲み込んだ場合は、医師の指示に従い、容器/ラベル/SDSを見せてください。絶対に嘔吐を誘発しないでください。意識があれば、大量の水を飲んでください。意識不明の人には決して口から何も与えないでください。

5. 火災時の措置

消火媒体 : 通常の燃焼性物質の初夏に適した水・粉末上消火剤・二酸化炭素

特有の危険有害性

- ・燃焼時、煙には刺激性・毒性のあるガスが発生する恐れがある。
- ・酸化性の物質が燃焼を加速させることがある。
- ・消防時の特別な防具と予防措置。
- ・消火作業の際は、適切な空気呼吸器（NIOSH 認定の自己呼吸器具）、化学保護衣を着用する。

特有の消火方法

- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・消火作業は風上から行う
- ・周辺火災の場合に移動可能な陽気は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防ぐため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行うものの保護

- ・消火活動は風上から行い、有毒ガスの吸入を避ける。
- ・適切な消化のための保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・新鮮な空気ですその場を換気する。
- ・作業の際には、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

環境に対する注意事項

- ・環境（河川等）への放出を避ける。
- ・地域の規則に従う

封じ込め及び浄化の方法、及び機材

- ・少量の場合 ウェス、モップなどで吸い込み回収する。
- ・大量の場合 土や不燃性かつ吸収性の高い素材で土手を作りながら吸収させて回収する。

7. 取扱及び保管上の注意

この製品は業務用であるため、取り扱いに十分注意すること

取り扱い

（技術的対策並びに注意事項）

- ・換気の良い場所で取り扱う
- ・保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・周囲に人やペットがいないことを確認してから使用する。

（安全な取り扱いの注意事項）

- ・水禁忌物質との接触を避ける。

保管**(保管条件)**

- ・ 日航の直射を避ける。
- ・ 通風の良いところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 凍結に注意する。
- ・ 水禁忌物質との同一場所保管を避ける。

8. 暴露管理／人身保護**許容濃度**

成分名/化学名	JSOH (日本産業衛生学会)	ACGIH (米国産業衛生専門家会議)
イソプロピルアルコール	最大許容濃度 400ppm 980 mg/m ³	V—TWA 200ppm TLV—STEL 400ppm
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル (アルキル基の炭素数が8のものに限る)	未設定	未設定
塩化ベンゼトニウム	0	0
ミネラルスピリット	未設定	未設定
4-(2-エチルヘキサン-1-イル)-4-アザトリシクロ [5, 2, 1, 0, (2, 6)] デカ - 8-エン - 3, 5 - ジオン	未設定	未設定
2-フェニルフェノール	第3種粉塵：その他の 無機及び有機粉塵	PNOS TLV:3 mg/m ³ (Respirable particles)
ピペロニルブトキシト	未設定	未設定
ピレトラム	0	0

設備対策**人体に対する注意事項**

- ・ 屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。
- ・ 屋内作業の場合は換気の良い場所で使用する。
- ・ 必要な時(肌、眼等に付着した時など)にすぐに使用できるように近くに水を準備して使用する。

保護具

- ・ 眼の保護具 : ゴーグル等を使用
- ・ 皮膚及び身体の保護具 : 化学物質が浸透しない材質の手袋を使用
: 皮膚を露出しない衣服(長袖等)を着用する
- ・ 呼吸器の保護具 : 通常の使用では不要

9. 物理的／化学的特性

- 外観 : 透明の液体
- 臭い : ほのかなアルコール臭

PH : 6.5-7.5
比重 : 0.9g/ml
溶解度 : 水可溶性 100%
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : 102°C—206°C
引火点 : 25°C

10. 安定性と反応性

化学安定性 : 一般環境下で安定
混触危険物質 : 重金属、可燃性の有機材料 還元剤
避けるべき条件 : 熱、過度の圧力、酸素
危険有害な分解生成物 : 特になし
危険有害反応の可能性 : 有害な重合反応なし

11. 毒物学上の情報

即効性（急性）の影響
急性眼刺激 : かなり強い刺激
急性皮膚刺激 : 軽い刺激
急性経皮毒性 : 5g 以下/kg
急性吸入毒性 : 2.88ppm
急性経口毒性 : 5g 以下/kg
遅延性（やや慢性及び慢性）の影響 : 既知の範囲にない

12. 生態学的情報

生態毒性情報 : 混合物、界面活性剤は測定せず
環境動態 : 測定せず

13. 廃棄時の配慮

適用される産業廃棄物処理基準及び都道府県の法規に従って廃棄すること。

14. 輸送に関する情報

国際規制
国連番号 : 1993
国連分類 : 引火性液体類
品名 : その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの)
容器等級 : 3

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒物劇物法に該当する場合、法令に従って輸送すること
海上輸送 : 船舶安全法の定めに従う
航空輸送 : 航空法の定めに従う

15. 適用法令

成分としての通知物質。ただし、成分名の記載がない場合は衣料以上含有していない。

化学物質管理促進法

→ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る)

(CAS RN:9036-19-5) 第一種 政令番号(1-461) 管理番号(408)

→2-フェニルフェノール(CAS RN:90-43-7) 第一種 政令番号(1-388) 管理番号(346)

→ピペロニルブトキシド(CAS RN:51-03-6) 第二種 政令番号(2-112) 管理番号(809)

化審法:-

安衛法

→名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条及び第18条の2別表第9)

海洋汚染防止法

→名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条及び第18条の2別表第9)

毒物及び劇物取締法:-

水質汚濁防止法 →指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

消防法

→第4類引火性液体、アルコール類

→第4類危険物(引火点不明)

→第4類引火性液体、第2石油類 非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1類、第4類)

→第4類 引火性液体 第3石油類 非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1類、第4類)

船舶安全法

→引火性液体類

→有害物質(危険則第3条危険物告示別表第1)

→毒物類(危険則第3条危険物告示別表第1)

→毒物類・毒物(危険則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法

→引火性液体

→有害性物質(施工規則第194条危険物告示別表第1)

→毒物類(施工規則第194条危険物告示別表第1)

→毒物類・毒物(施工規則第194条危険物告示別表第1)

労働基準法:-

港則法

→その他の危険物・引火性液体類

16. その他の情報

参考資料 : 厚生労働省 職場の安全サイトによる GHS 関連情報
: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP GHS 関連情報

本製品安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、SDS 中の注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものです。

製品使用者が特殊な取り扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。

ご使用の際には、賞品表示ラベル記載内容及びこの安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

本製品は販売者のアドバイスが無い限り他の製品と希釈しないでください。

フォンシュレーダージャパン社 (VSJ) は、お客様のご依頼によりここに示すデータを、誠意をもって提出するもので、これに関して義務、法的責任を負うことはありません。また、このデータに関して、明示または暗示を問わず、いかなる保証、補償も行いませんし、VS あるいは他者が所有する特許の侵害を許可、推奨、誘発することも致しません。

本データは、あくまでお客様の参考、検討のために提出するものです。使用に際しては、その状況が VSJ の管理範囲を超えるため、使用者が全責任と危険を負うことになります。